

(社)全日本鍼灸学会

平成 21 年度 第 5 回理事会 会議議事録要旨

I. 開催の日時及び場所

日 時：平成 22 年 3 月 22 日(月・祝) 午後 11 時～13 時

場 所：日本鍼灸会館 4 階会議室（東京都豊島区南大塚 3-44-14）

II. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭

挨 拶：会 長 後藤 修司

議 長：会 長 後藤 修司

議事に先立ち、後藤修司会長から挨拶があった。

【報告事項】

1. 各部中間報告（平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月）

1) 事務局

福村昭事務局長より資料に基づき報告があった。

2) 学術部

北小路博司学術部長より資料に基づいて報告があった。

3) 研究部

川喜田健司研究部長より資料に基づき報告があった。

4) 編集部

野口栄太郎編集部長より資料に基づき報告があった。

5) 組織部

安雲和四郎組織部長より資料に基づき報告があった。

6) 国際部

若山育郎国際部長より資料に基づき報告があった。

7) 広報部

金井正博広報部長より資料に基づき報告があった。

2. 認定委員会事業中間報告

福村昭認定委員会事務局長より資料に基づき報告があった。

3. 支部運営委員会報告

小川委員長より資料に基づき報告があった。

4. 役員選挙管理委員会報告

福村昭事務局長より資料に基づき報告があった。

5. 評議員選挙管理委員会報告

安雲和四郎委員長より資料に基づき報告があった。

6. 第 59 回学術大会（大阪大会）準備報告

安藤文紀実行委員長より資料に基づき進捗状況について報告があった。

7. 第60回学術大会準備報告

妹尾匡躬実行委員長より第60回大会に関する報告があった。日本伝統鍼灸学会との共催大会となることが決定した旨の報告があった。

名称：「(社)全日本鍼灸学会第60回学術大会 共催 日本伝統鍼灸学会第39回学術大会」

略称：2011 鍼灸学術大会つくば

日程：平成23年6月10日(金)～12日(日)

会場：つくば国際会議場

8. 決算中間報告

小川財務部長より資料に基づき進捗状況について報告があった。

9. 監査報告

矢野忠監事より会計処理が適正に処理されている旨の報告があった。

10. 評議員選挙報告

安雲和四郎組織部長より選挙結果について報告があった。

2月11日郵便投票の結果、総投票数51票(有効49票、無効2票：期日後のため)、棄権1票で、1号評議員は全員信任された。

11. その他

「中国中医学の大戦略」について

形井秀一参与から資料に基づき説明があった。

主に漢方に関しての動きであるが、他国では漢方と鍼灸は区別せずに扱っているので、漢方に関する動向にも気を配っていかなければならない。

以上、報告事項は全て了承された。

【審議事項】

1. 平成22年度各部事業計画案

1) 総務

福村昭事務局長より資料に基づき説明があった。

諸会議の日程について、平成22年8月1日(日)は日本鍼灸会館が使用できないため、調整後に再度連絡することが賛成多数で了承された。

2) 学術部

北小路博司学術部長より資料に基づいて説明があった。

鍼灸学術団体協議会を大阪大会期間中(6月12日 土曜日 17:00～18:00)に開催するため、招聘状を本部事務局から関係各団体(日本伝統鍼灸学会、日本臨床鍼灸懇話会、日本東洋医学系物理療法学会、日本良導絡自律神経学会、日本鍼灸師会、全日本鍼灸あん摩マッサージ指圧師会、東洋療法学校協会)に送付する。なお、本会からは正副会長及び常務理事が出席する。

また、学術大会抄録登録時の倫理的配慮の確認を平成22年11月から行うことが賛成多数で承認された。

3) 研究部

川喜田健司研究部長より資料に基づき説明があった。矢野監事より、研究公募・プロジェクト公募と分散するよりも一点集中型にするのも一案であるとの提案があった。

4) 編集部

野口栄太郎編集部長より資料に基づき説明があった。

- 5) 組織部
安雲和四郎組織部長より資料に基づき説明があった。
- 6) 国際部
若山育郎国際部長より資料に基づき説明があった。
- 7) 広報部
金井正博広報部長より資料に基づき説明があった。
データベースの利用を会員に対して広報を行っていく。

審議の結果、平成 22 年度各部事業計画案は賛成多数で全て承認された。

2. 平成 22 年度認定委員会事業計画案
福村認定委員会事務局長より資料に基づき説明があった。審議の結果、認定委員会事業計画案は賛成多数で承認された。
3. 平成 22 年度予算案
小川卓良副会長より資料に基づき説明があった。名簿作成に伴う広告費を雑収入として 300 万円、組織部事業に名簿作成費用として 300 万円を計上することとした。審議の結果、平成 22 年度予算案は賛成多数で承認された。
4. 会員名簿作成の件
安雲和四郎組織部長より説明があった。会員名簿作成にあたっては、情報漏えいや広告のことを勘案して紙ベースで作成し、記載事項（住所、電話番号、開業の有無、E-mail）に関しては、全会員から承諾書をとることになった。また、名簿作成費用は広告費で賄い、平成 22 年 12 月末を目標に作成することとした。審議の結果、会員名簿作成は賛成多数で承認された。
5. 第 59 回学術大会（大阪大会）市民公開講座の講師料について
安藤文紀実行委員長より説明があった。市民公開講座における講師謝礼については、50 万円以内であれば実行委員会に一任することが賛成多数で承認された。
6. 第 60 回学術大会予算案
妹尾匡躬実行委員長より資料に基づき説明があった。今後、どの支部でも学術大会が運営できる基盤作りとして、大会参加費の値上げが必要との申請に対して議論した。審議の結果、参加費の値上げは必要ということが賛成多数で承認された。また、第 60 回学術大会予算案に関しても賛成多数で承認された。
7. 評議員代理出席者に対する旅費支給の件
福村昭事務局長より説明があった。旅費規程に則り代理出席は認めず、委任状の提出を求めることが賛成多数で承認された。
8. 認定登録者名簿配布先の検討
小川卓良副会長より説明があった。認定登録者には従来通り名簿を送付するが、その他の名簿送付先については認定委員会で再検討することが賛成多数で承認された。
9. 「ほけん未来」への認定登録者名簿の配布について
後藤修司会長より説明があった。認定者にその旨を通知して了承を得ることが、賛成多数で承認された。
10. スマートピットの導入
小川卓良副会長より資料に基づき説明があった。関東支部講習会においてパイロットテストを行い、今後本格導入するかどうかを検討することが賛成多数で承認された。

11. WFAS・ISO・WHO 関連の会議への出席

形井秀一参与、山下仁 JLOM 関連委員会委員長より説明があった。JLOM 関連委員会の中で担当者を決めて対応し、人選は正副会長、形井秀一参与、山下仁 JLOM 関連委員会委員長、若山育郎国際部長で検討していくことが賛成多数で承認された。

12. 「柳川レポート」について

今後理事に転送することが賛成多数で承認された。

13. 「代替医療のトリック」について

本の内容を検討した結果、科学的見地からの問題点を研究部がまとめることが賛成多数で承認された。

14. 入会審査

平成 22 年 2 月から 3 月における入会申込者への審査を行った結果、賛成多数で全員の入会が承認された。

以上、すべての議案について賛成多数で承認された。

以上をもって平成 21 年度第 5 回理事会の議事を全て終了した。